

地震災害

米原市を襲う地震を知りましょう

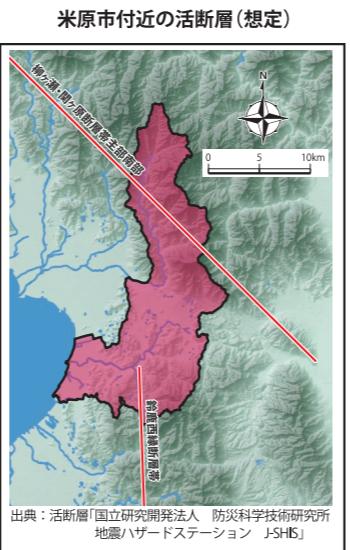
日本は、「陸側のプレート」と「海側のプレート」の境界に位置しており、地震が多く発生する国です。地震の起こり方は、大きく「内陸型地震」と「海溝型地震」の2種類に分けられます。

内陸型地震

市の周辺には、「活断層」と呼ばれる過去に繰り返し活動し、将来も活動することが推定される断層が確認されています。

地下の地盤に押し合う力や引っ張り合う力が加わることで、ひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときに、ある断层面を境に地盤がずれ動き、地震が起きます。

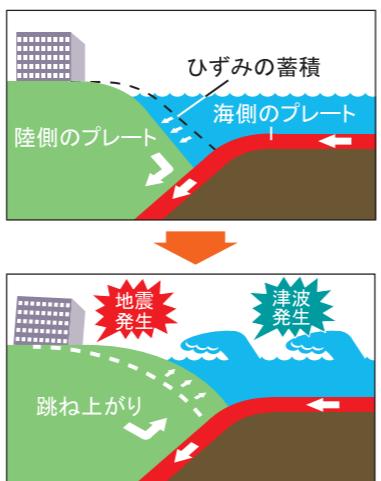
断層帯全体が活動する確率は極めて低いですが、内陸型地震のうち、市域で最も被害が大きくなることが想定されるのは、柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震であり、鈴鹿西縁断層帯地震でも同等の被害が生じる可能性があります。



海溝型地震

海側のプレートが陸側のプレートの下に潜り込むことで、境界にひずみのエネルギーが蓄積され、それが限界に達したときにプレートが元に戻ろうとして跳ね上がり、地震が起きます。年間数cmの割合で陸側のプレートに潜り込んでいます。

市に影響がある海溝型地震には、南海トラフで発生する南海トラフ巨大地震があります。



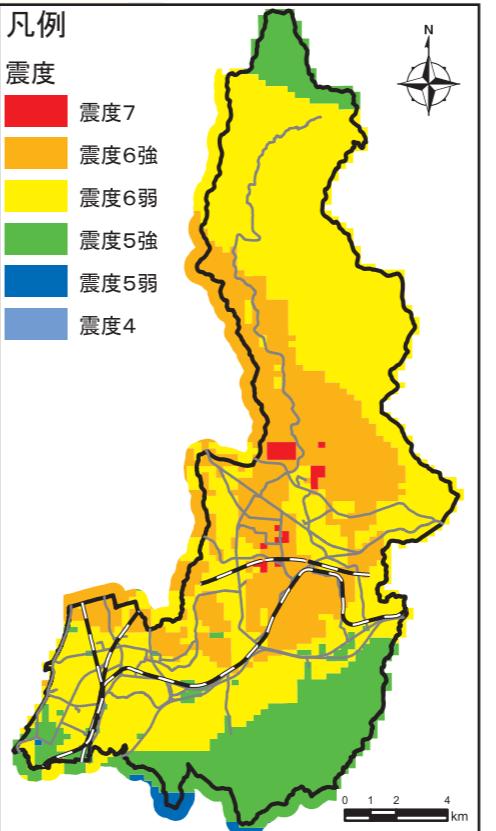
影響が大きい主な地震

地震名	地震の規模※1 (マグニチュード)	想定される 最大震度	30年以内の地震発生確率※2
柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震	7.8	7	ほぼ0%（主部/北部）
南海トラフ巨大地震	9.0	6強（陸側ケース）	70%～80%
鈴鹿西縁断層帯地震	7.6	6強	0.08%～0.2%

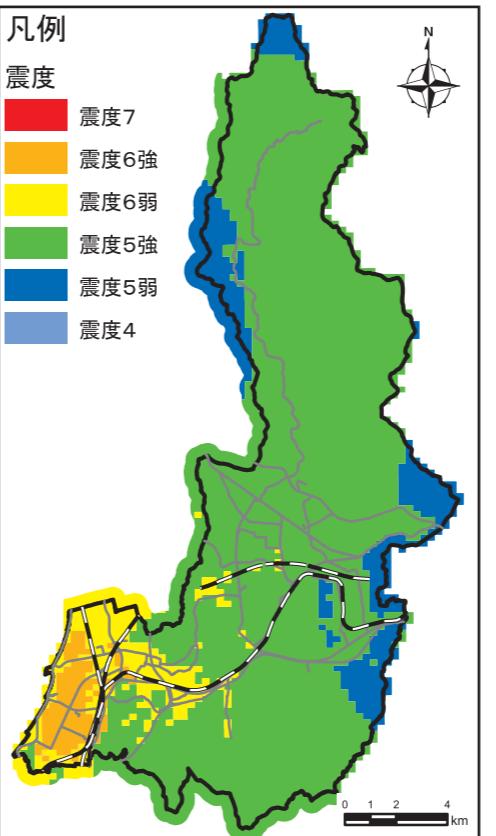
※1:地震の規模・震度は、滋賀県地震被害想定（平成26年3月）

※2:30年以内の地震発生確率は、地震調査研究推進本部による令和2年1月1日での算定（令和2年5月25日訂正）

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震



南海トラフ巨大地震



地震の規模（マグニチュード）	7.8
市内の想定最大震度	7

被害種別・項目・時期		被害想定	
建物被害	全壊棟数(住家は戸数を棟数として算定)	1,166棟	
	半壊棟数(住家は戸数を棟数として算定)	3,433棟	
	全焼棟数 冬 夕方 風速8m/sec	254棟	
人的被害	死者数 冬 深夜	68人	
	負傷者数 風速8m/sec	748人	
	地震直後 1日後 2日後 3日後 1週間後	25,395件 9,953件 4,905件 2,565件 1件	
ライフル線機能支障	電力供給施設 停電口数	24,494人 23,690人 22,628人 21,480人 16,876人 3,104人 282人 24人	
	上水道施設 断水人口	1日後 3日後 1週間後 1か月後 2か月後 3か月後	2,547人 3,520人 4,232人 965人
	避難者 避難所生活者	地震直後 1日後 2日後 3日後 1週間後 1か月後	25,597件 16,194件 10,352件 6,172件 62件

出典：滋賀県地震被害想定（平成26年3月）

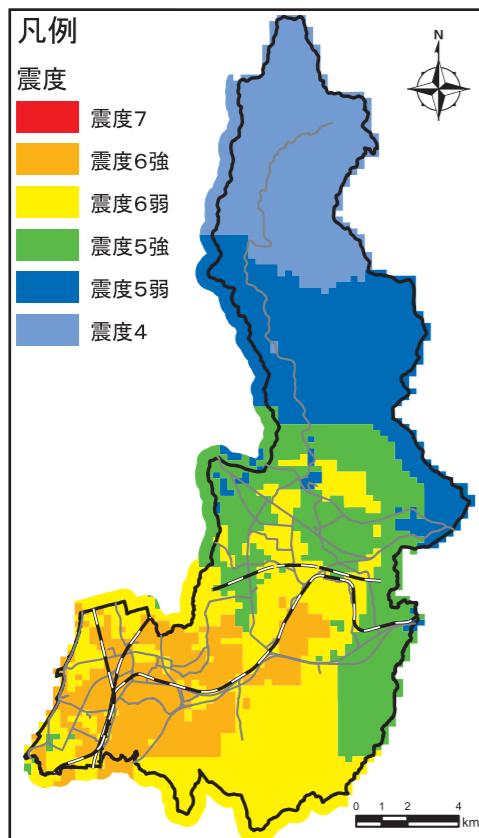
地震の規模（マグニチュード）	9.0
市内の想定最大震度	6強

被害種別・項目・時期		被害想定	
建物被害	全壊棟数(住家は戸数を棟数として算定)	493棟	
	半壊棟数(住家は戸数を棟数として算定)	2,278棟	
	全焼棟数 冬 夕方 風速8m/sec	－	
人的被害	死者数 冬 深夜	22人	
	負傷者数 風速8m/sec	336人	
	地震直後 1日後 2日後 3日後 1週間後	25,597件 16,194件 10,352件 6,172件 62件	
ライフル線機能支障	電力供給施設 停電口数	19,332人 23,341人 20,292人 16,824人 8,754人 1,126人 69人 4人	
	上水道施設 断水人口	1日後 3日後 1週間後 1か月後 2か月後 3か月後	1,019人 2,864人 3,011人 758人
	避難者 避難所生活者	地震直後 1日後 2日後 3日後 1週間後 1か月後	25,597件 16,194件 10,352件 6,172件 62件

出典：滋賀県地震被害想定（平成26年3月）

地震災害

鈴鹿西縁断層帯地震



液状化について

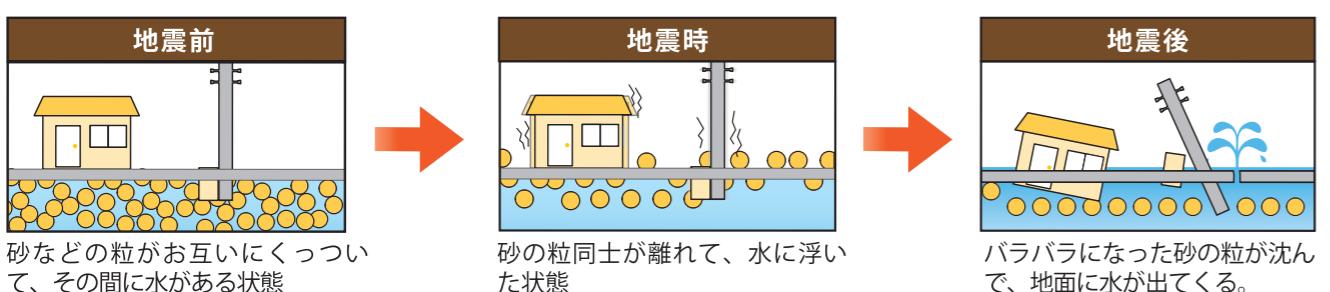
ゆるく堆積した砂地盤などは、地震により激しく揺れると、今までしっかりと建物を支えていた地盤が液体のようになり、建物が傾いたり沈んだりして、大きな被害をもたらします。

液状化危険度の判定区分

液状化危険度	低い	高い	
PL値 [*] による液状化危険度判定	0≤PL<5 液状化による被害発生の可能性は低い	5≤PL<15 液状化による被害発生の可能性がある	15≤PL 液状化による被害発生の可能性が高い

*PL値とは、地盤の総合的な液状化の激しさを表す指標であり、液状化危険度マップ等に用いられています。

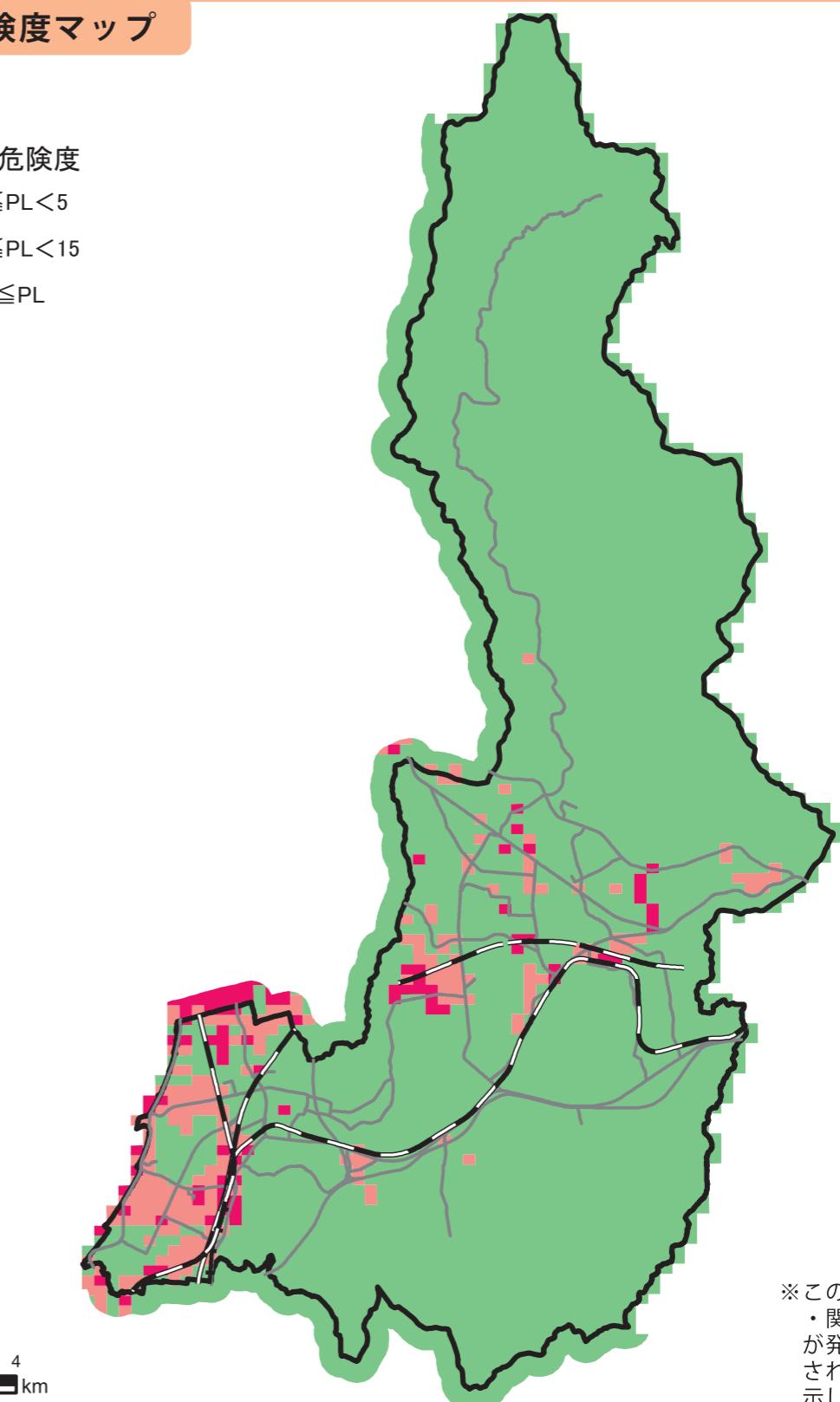
液状化の仕組み



液状化危険度マップ

凡例

液状化の危険度	
0≤PL<5	緑色
5≤PL<15	オレンジ色
15≤PL	赤色



※このマップは「柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震」が発生するときに予想される液状化危険度を示しています。

インターネットで確認

柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯地震、南海トラフ巨大地震、鈴鹿西縁断層帯地震等の推定震度分布の詳細は、滋賀県防災情報マップでご確認いただけます。

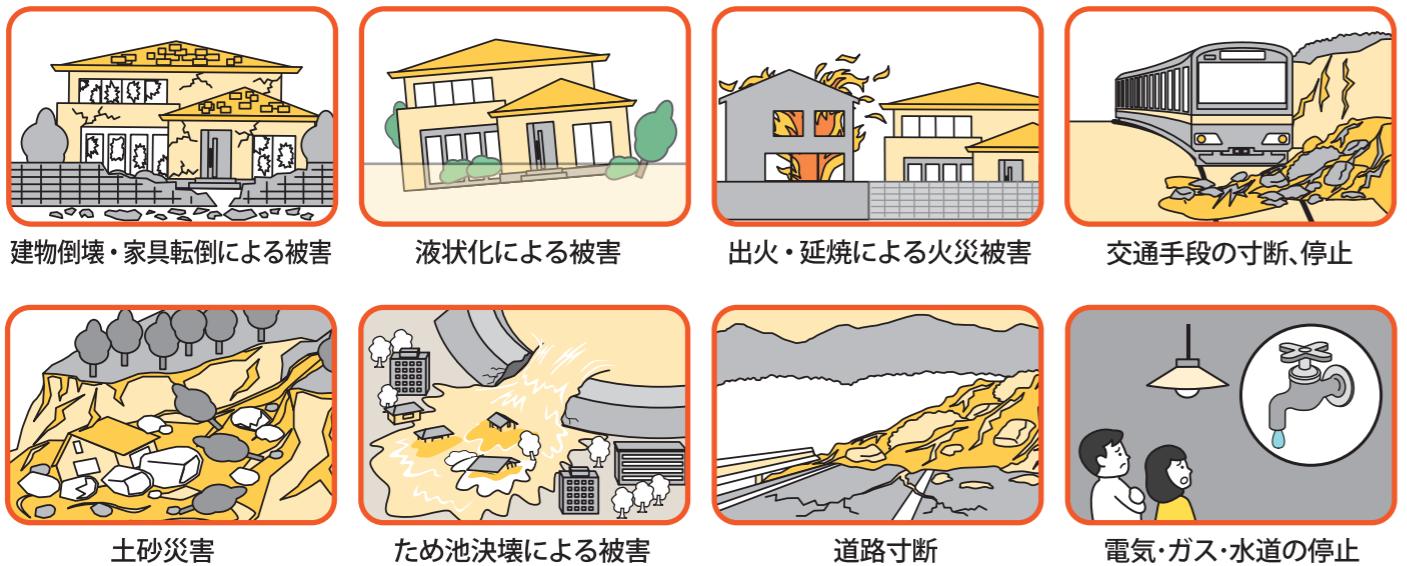


液状化危険度マップの詳細は、滋賀県防災情報マップでご確認いただけます。

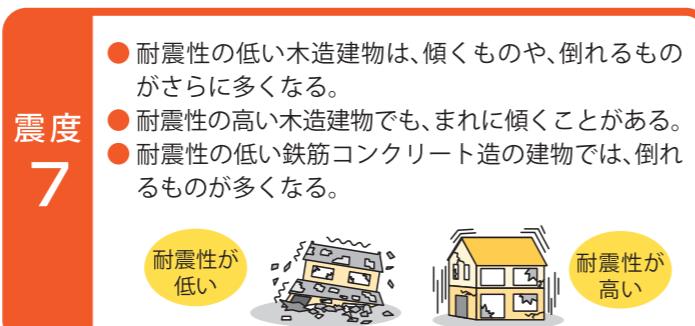
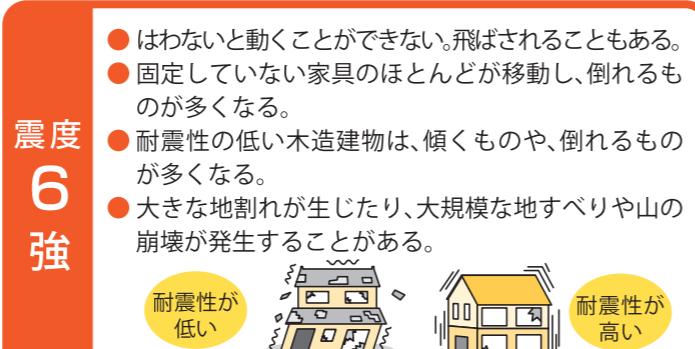
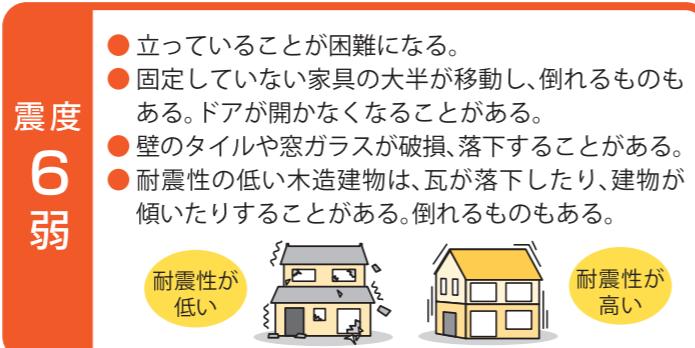


地震災害

地震が起きたらどうなるかイメージしましょう



震度と想定される被害の関係を知りましょう



地震時の行動を考えましょう

地震は突然やってきます。もしも今、突然大きな揺れが起きたら、どのような行動をとればよいのか考えてみましょう。また、様々な場面での地震発生を想定し、どの場面でどのように行動したらよいか家庭で話し合いましょう。

